

# 自治会だより

東元町一丁目自治会  
発行責任者 石井 一雄  
令和 3 年 4 月 1 日  
一丁目自治会 URL:  
<https://kokubunji-hm.sakura.ne.jp/higashi-motomachi/>

Twitter  
[https://twitter.com/higashi\\_moto\\_1](https://twitter.com/higashi_moto_1)

スマホ用  
QR コード



**定時総会のお知らせ**  
5月16日(日)  
午後1時 自治会公会堂  
皆様のご参加をお待ちしております。  
定時総会終了後に平安神社奉賛会の総会もあります。

ご挨拶 自治会長 石井 一雄

新年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスにより自治会活動が大幅に制限されました。5月の定時総会は中止を余儀なくされ、月例役員会もほとんど開催できませんでした。また、地域の行事も全てキャンセルとなり、例年とは様変わりした1年間でした。

一方では、外出自粛を機にホームページを立ち上げることができ、

10月から公開いたしました。さらに、懸案であった児童遊園の新規遊具の設置や樹木の剪定など、一定の成果を収めました。昨年度の活動状況や今年度予算については、5月16日の定時総会で報告の予定です。

新型コロナウイルスはまだまだ予断を許せません。2月に手指消毒用のアルコールジェル(右写真)を全戸にお届けしました。手洗いの励行・マスクの着用・3密の回避などの感染予防策を徹底し、この難局を乗り切りましょう。



願っています。  
餅は平安神社の祭神である菊理媛命(きくりひめのみこと)にお供えされるほか、自治会会員の方々に配布されます(引換券と交換制)。これは神が召される供物を一緒に食することで力がつき、一年間の平安無事が保証されるといった意味合いを持っています。今年には新型コロナウイルス感染症対策のため残念ながら中止とならざるを得ませんでした。来年こそは再開できることを願っています。

餅搗きには使用する臼や杵、蒸籠(せいろ)、大釜、米揚げ笊(ざる)などの道具一式は自治会で所有し、常時は神社境内の倉庫に保管されています。行事の数日前から準備が行われ、当日はドラム缶の籠が臨時に設置され、拝殿前に二つの臼が据えられてそこで餅を搗きます。はじめに蒸籠で蒸かした糯米(もちごめ)を臼にあげ、三人ほどが杵で押し潰して練る作業を行います。次に三人が臼の周りを時計回りに回りながら威勢よく杵で餅を搗いていきます。このとき「よいしよー!」とテンポよく掛け声をかけながら搗くのがコツです。最後に手で餅を返して一人の搗き手が搗いて仕上げます。糯米は七十キログラムほど用意され、全部で十六臼ほども搗くので大変です。大人に続いて、地域の子ども達も餅搗きに加わります。搗かれた餅は公会堂内に運び込まれ、女性たちが餡子ときな粉の二種類の丸餅にしてパック詰めして出来上がりです。



## 「東元町一丁目自治会のもちつき大会」について

武蔵国分寺跡資料館 学芸員 米村 創

平安神社の境内で毎年開催されている「もちつき大会」は、昭和五十四年(1979)から始まった東元町一丁目自治会の年中行事です。事の始まりは、東元町文庫の関係者の方々が、正月行事である餅搗きを地域の子ども達に経験させたいと自治会へ相談があったことがきっかけでした。正月に各家で祀る神々にお供えする餅は、かつては年末に自宅で搗いていたものです。昭和五十年代頃からは専門店へ依頼する家が多くなり、自宅での餅搗き作業が行われなくなっていました。そんな頃に立ち上げられたこの地域行事は、現在では市内でも珍しい風景となっています。小正月を意識して日取りを決めたのかもわかりませんが、一月の第二日曜日(一月十五日前後)に行われます。



## 子育て支援の場「小さな森」一般社団法人

地域の皆さん こんにちは、子育て支援の場小さな森(一般社団法人)は、毎週月曜日に平安神社の大広間をお借りして活動しています。

コロナ禍であっても、広い空間なので密を避けて活動の継続ができています。お陰様で子供たちは日々元気に成長し続けている事に感謝の気持ちでいっぱいです。

### <小さな森(通称)の活動>

- ・毎週月曜日 10時~12時  
(コロナのため、2時間の活動です)
- ・メンバーは0~6歳児とお母さん

### <小さな森の活動内容>

- ・手遊び、うた遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなど
- ・サポートママ:母の通院時など、皆んなで子供を預かり合い、母の通院をサポートします。
- ・子育て相談:どんなことでもどうぞ
- ・他に、クリスマス会、さつまいも掘り、ミカン狩りなど季節の行事を楽しんでいます。



### <活動の3本柱>

- ①豊かな遊びの提供
- ②お母さん達の勉強会(子育てについて学びます)
- ③メンバー皆んなで話し合い、意見を出し合って会の運営(協力、助け合い)を行う。

3本の柱は、ニュージーランドのプレーセンター(国が幼児教育の場として認めている)理論が土台になっています。

子育ては育てる側の成長が先ず必要という考えから、子供は保護者と一緒に通園します。どの子も豊かに育て欲しいという願いから、遊びを沢山用意し、遊び=学び と考え、仲良く遊ぶ方法を提供します。そして、大人達は話し合う事で互いの理解を深め、良い関係づくりながら子育てや会の運営にあたります。この良い関係は、子供が成長しても継続しますので、核家族であっても協力助け合いが出来て安心な子育てが可能になります。

上記、下線部分を目指して日々の活動をしています。

※早朝に神社の庭を掃き清め、火災防止の水を取り替え、水まきして下さる方々、いつも感謝です。いつの日か、これを引き継いでくれる子供に育ってくれたらと願っています。地域の皆様 今後共どうぞ宜しくお願いいたします。

小さな森(一般社団法人)代表 渡辺金子